

面白かった“テレビ報道”



過日、道内の夕方テレビ報道で面白い内容の放映があった。

放映内容は、道東の遠軽町観光協会では、北大雪スキー場にて圧雪車を活用してスキーヤー及びスノーボーダーを頂上まで搬送する「TENGU Snowcat Tours」(試験営業)を開催し、新たな地元ならではのスキーの取組み報道があった。

参加者(最大一日10名限定)は豊かな降雪量に恵まれたドライで軽いパウダーを堪能し、昼食には、参加者全員で満面の笑みで北海道遺産の「ジンギスカン鍋」を囲み、美味しそうにいただいていた。

参加者が滑っている様子をテレビで拝見していたが、そこにはスキーの原点が見えていたような気がしたのは私だけだったのでしょうか。映像を見ている者もワクワク感が非常に伝わってきた報道であった。

ツアーの興味のある方は、このホームページアドレス：<http://tengucat.jimdo.com>で検索して下さい。

スキー振興への取組み

2月6日(日)北海道新聞の朝刊に上杉北海道スキー連盟理事長と植田北海道索道協会副会長のお二方の記事が掲載されていました。

上杉氏は大会などの関心を持っていただくような雰囲気づくりやヒロインがメディアに取り上げられることが大事とのこと。

また、植田氏は各スキー場も集客に向けた幅広い企画力が必要。

まずは、私たちは自分たちの出来ることから始めましょう。



シーハイル！！